

大会開催における感染拡大予防ガイドライン

茨城県高体連剣道専門部

本専門部では、茨城県教育庁学校教育部保健体育課・全日本剣道連盟・全国高体連剣道専門部・茨城県剣道連盟発出のガイドラインをもとに、専門部としてのガイドラインを以下のとおり定め、大会を開催します。

【専門部での感染対策】

- 1 参加同意書・健康チェックシート・来場者名簿の提出を求める。
- 2 無観客での開催とする。(男子大会日は男子のみ、女子大会日は女子のみの入場とする。ただし、補助員についてはこの限りではない。)
- 3 こまめな換気と手指消毒の遵守。(消毒液を入り口、審判席に設置)
- 4 開閉会式を簡略化し、ソーシャルディスタンスを確保し整列させる。
- 5 選手は面マスク・マウスガードの着用を義務化し、その他のシールド着用は推奨する。
(面マスクの着用については、鼻まで覆うこととする。)
- 6 役員・審判員・補助員も競技中のマスクの着用を必須とする。
- 7 鏑迫り合いの時間を短くするため、早めに「分かれ」をかける。
- 8 面マスク着用での試合の為、熱中症リスクを考慮し選手をよく観察する。
- 9 竹刀検量は行わない。
- 10 各会場におけるいばらきアマビエちゃんへの登録を推奨する。
- 11 男女個人戦時は、選手1人につき、1名の付き添いは認めるが、それ以上の入場は認めない。
(ただし、補助員についてはこの限りではない。)

【選手自身が行う感染対策】

- 1 参加同意書・健康チェックシートの提出。
- 2 手指消毒の徹底。
- 3 面マスク・マウスガードの着用義務化。
(面マスクの着用については、鼻まで覆うこととする。)
- 4 会場までの往復時には、マスクを着用する。
- 5 発熱や風邪症状等の体調不良者は参加しない。
- 6 応援は拍手のみで行い、ソーシャルディスタンスを意識する。
- 7 飲食する際は手洗い・うがいを徹底し、対面での食事は避ける。
- 8 ごみの持ち帰りの徹底。
- 9 いばらきアマビエちゃんへの登録。